

28  
★★★★★ 絶対合格 ★★★★★

# 日本語能力試験 徹底トレーニング N1 聴解

新しい試験の形式と傾向を詳しく解説！

会話パターンと頻出表現を知ること、正解が聞こえるようになる！

練習問題＋実戦模試2回で徹底トレーニング！



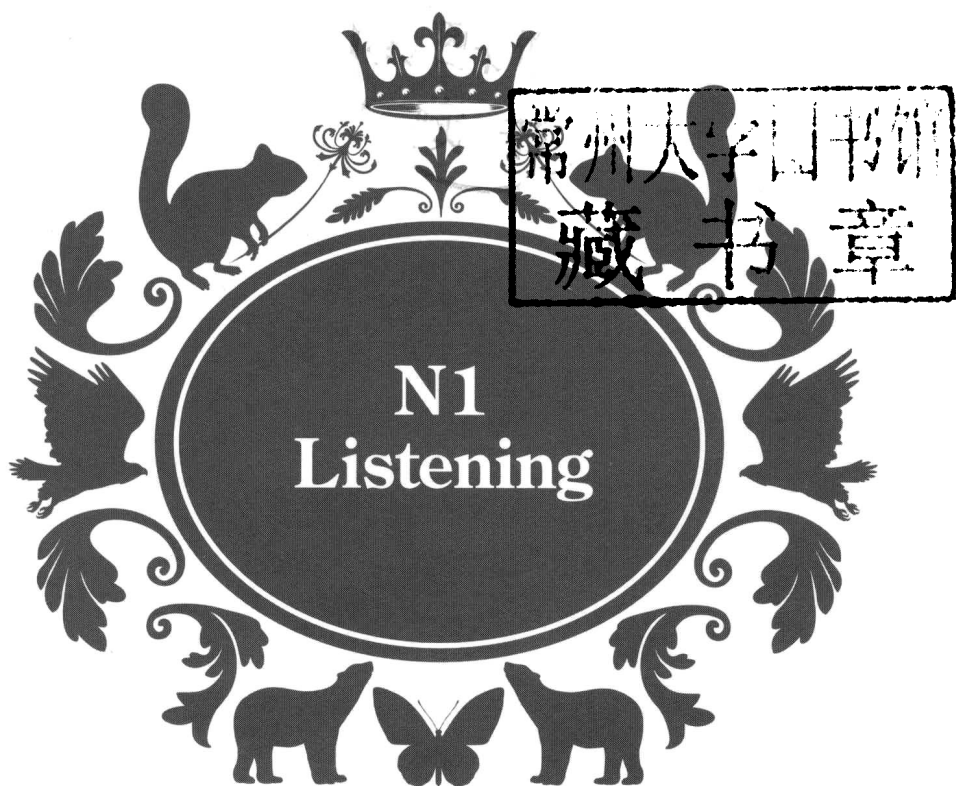
 CD 2枚付き

松岡 龍美

  
ask  
PUBLISHING

★★★★ 絶対合格 ★★

# 日本語能力試験 徹底トレーニング N1 聴解



松岡 龍美

ask  
PUBLISHING

著 者 **松岡 龍美**

東京日本語教育センター講師。

『絶対合格！日本語能力試験徹底トレーニングN1 文法』（アスク出版）、『日本留学試験対策記述問題テーマ100シリーズ』（共著、アルク）など、日本語能力試験や日本留学試験のための著書多数。

ナレーション 大山尚雄 神田和佳

録音・編集 スタジオ グラッド

装丁・デザイン 笹尾ちひろ（株式会社アスク デザイン部）

D T P 朝日メディアインターナショナル株式会社

印刷・製本 日経印刷株式会社

**絶対合格！**

## **日本語能力試験 徹底トレーニング N1 聴解**

.....  
2011年6月20日 初版 第1刷発行

本体価格 1,800円

発 行 株式会社 アスク出版

〒162-8558 東京都新宿区下宮比町2-6

TEL 03-3267-6864 FAX 03-3267-6867

発行人 天谷 修平

.....  
乱丁、落丁本はお取り替えいたします。

許可なしに転載、複製することを禁じます。

© Tatsumi Matsuoka 2011

Printed in Japan ISBN 978-4-87217-776-3

## まえがき

2010年7月より、日本語能力試験が新しく生まれ変わりました。

科目を見ると、「言語知識(文字・語彙・文法)、読解」(110分)と「聴解」(60分)となっていて、内容は大きく進化したと言えるでしょう。特に、「聴解」のウェイトが大きくなり、新しい問題形式が出題されるようになりました。このような試験問題の進化は、教師としても学習者としても、歓迎できるものです。

しかし、新しくなった試験では、「言語知識(文字・語彙・文法)」(60点)「読解」(60点)「聴解」(60点)の3つの得点区分に分けられ、それぞれに合格基準点が設定されることになりました。N1では、各区分の基準は19点で、3区分合計の合格基準は100点です。たとえば、「言語知識(文字・語彙・文法)」と「読解」がともに50点で、2つの得点区分だけで100点に達していたとしても、もし「聴解」が18点で基準に達しなかったら、不合格になるということです。これでは、「1点の差」の理不尽さは、かえって強まることになります。はたして日本語能力試験に合格判定は必要なのでしょうか。この点も含め、今後さらに日本語能力試験が進化することを期待したいと思います。

「聴解」については、以前から苦手な学習者が多かったと思います。それだけに、「聴解」の得点が日本語能力試験合格のカギになるでしょう。この問題集では、実際にどんな問題が出題されるか、具体的に分析しています。どんな問題が出るのかわかれば、あとはそのための練習をするだけです。それが試験の成績を上げるために一番よい方法だと、私は確信しています。

私が問題集を作るときの思いはいつも同じです。

皆さんが1人でも多く試験に合格できますよう、心から祈っております。

2011年5月

著者

## 日本語能力試験 N1 聴解について

日本語能力試験N1の聴解は、試験時間60分、問題1から問題5まで全37問です。

問題1と2は、旧試験に出題されていたものとはほぼ同じ内容の問題です。問題3と4は、旧試験には出題されていなかった新しい問題です。問題5は応用問題で、形式も内容も複雑になっています。

それぞれどんな形式なのかをしっかりと押さえて、対策に役立てましょう。

### 聴解試験の概要

	大問	数	ねらい	事前に質問があるか	選択枝が書いてあるか
聴解 60分 37問	1 課題理解	6	まとまりのあるテキストを聞いて、内容が理解できるかどうかを問う (具体的な課題解決に必要な情報を聞きとり、次に何をするのが適当か理解できるかを問う)	○	○
	2 ポイント理解	7	まとまりのあるテキストを聞いて、内容が理解できるかどうかを問う (事前に示されている聞くべきことをふまえ、ポイントを絞って聞くことができるかを問う)	○	○
	3 概要理解	6	まとまりのあるテキストを聞いて、内容が理解できるかどうかを問う (テキスト全体から話者の意図や主張などが理解できるかを問う)	×	×
	4 即時応答	14	質問などの短い発話を聞いて、適切な応答ができるかを問う	×	×
	5 統合理解	4	長めのテキストを聞いて、複数の情報を比較・統合しながら、内容が理解できるかを問う	×	×/○

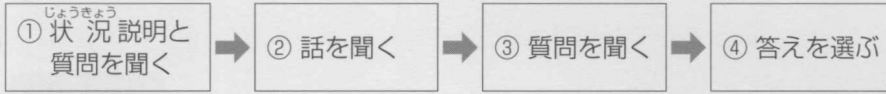
※小問数は、試験で出題される目安です。実際の試験では異なる場合があります。

日本語能力試験の総合計得点は180点満点、聴解は60点満点です。

基準点は3得点区分合計100点、聴解は19点ですが、より確実な合格のために、42点(70%)以上、つまり、全37問のうち26問以上の正解を目標にしましょう。

**問題 1 (課題理解)**

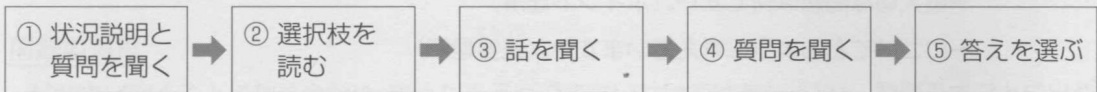
2人の会話を聞いて、「これからどうするか」という質問に答える問題。



- 質問例 男の人はこれからどうしますか。  
 女の人はこのあと何をしなければなりませんか。  
 男の人は、どんな指示を出しますか。

**問題 2 (ポイント理解)**

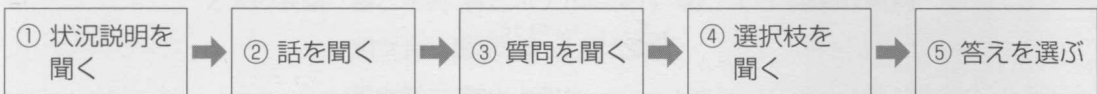
2人の会話(1人の話)を聞いて、その話の中で一番大事なポイントを聞き取る問題。



- 質問例 ~する一番の理由/目的は何だと言っていますか。  
 どうして~しますか。  
 何が問題だと言っていますか。  
 何が最も大切だと言っていますか。  
 ~について、どんな考えを持っていますか。  
 どんなアドバイスをしていますか。

**問題 3 (概要理解)**

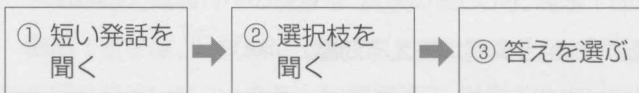
1人の話を聞いて、それが何についての話なのかを答える問題。



- 質問例 話のテーマは何ですか。  
 何について話していますか。  
 先生が言いたいのはどのようなことですか。  
 女の人が伝えたいことは何ですか。  
 ~についてどう考えていますか。

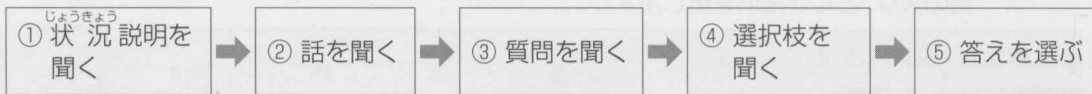
#### 問題4 (即時応答)

ある問いかけ、話しかけに対して、どのような受け答えをしたらいいかを選ぶ問題。



#### 問題5 (統合理解)

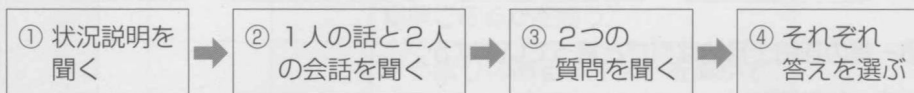
3人の会話、または1人の話をふまえた2人の会話を聞いて、いろいろな情報を合わせて内容を理解する問題。



質問例 息子はこれからどうしますか。(課題理解)

一番大切な問題は何ですか。(ポイント理解)

～についてどのように考えていますか。(概要理解)



質問例 女の人／男の人は何を選びましたか。

女の人／男の人はどうすることにしましたか。

## 本書の構成

まず問題1～5まで問題形式ごとの解説と対策、練習があります。最後にまとめとして、実戦と同じ形の模擬試験があります。

### 問題1～5

#### どんな問題が出る？

例題を解きながら、どんな問題か、どんな流れで問題を解くかを詳しく知ることができます。

**Point** では、問題を解くときのコツや役立つ情報、勉強法などを押さえます。

#### 問題の対策

試験中に聞くことになる会話は、まったく予測できないわけではありません。問題形式ごとに出やすい会話のパターンを知ることによって、イメージがしやすくなります。

「どんな話を聞く？—よく出るパターン—」では、登場人物、場面、機能の3つの要素を紹介します。

- 登場人物 → 問題1、2   ほとんど2人の会話  
問題3           ほとんど1人の話  
問題4           すべて2人の会話(問いかけと応答の1回のみ)  
問題5           2人または3人の会話、1人の話+2人の会話

2人の会話   客と店員、客とホテルの受付、客と公共機関の職員  
男女会社員、同僚、上司と部下  
男女学生、学生と先生  
インタビュアーと先生、専門家  
家族、一般の男女 など

1人の話   社員、社長、会長、大学の先生、学長、店の店長  
学者、専門家、解説者  
俳優、作家、アナウンサー、スポーツのコーチ  
など、さまざまな職業の専門家が登場します。



3人の会話 <sup>ふうふ</sup>夫婦と子どもなどの家族  
<sup>じょうし</sup>上司と男女社員または社員3人  
 先生と男女学生または学生3人  
 店員と一般男女 など

**ば** **めん** → **会社** 受付、オフィス、会議室、電話対応 など  
**店** ホテル、デパート、飲食店 など  
**大学** 教室、研究室、図書館、食堂 など  
**家庭** <sup>かてい</sup>部屋、テレビを見ながら など  
**公共機関** <sup>こうきょう きかん</sup>駅、公園、<sup>やくしょ</sup>役所、<sup>こうばん</sup>病院、<sup>こうばん</sup>交番 など  
 また、電話や<sup>るすばん</sup>留守番電話、テレビなども使われます。

**き** **のう** → **問題1** <sup>しじ</sup>指示、<sup>いらい</sup>依頼、<sup>ていあん</sup>提案、<sup>とあ</sup>問い合わせ、クレーム、キャンセル など  
**問題2** <sup>りゆうせつめい</sup>理由説明、<sup>じょうきよう</sup>状況説明、<sup>しゅちよう</sup>主張、<sup>ひかくひようか</sup>比較、評価 など  
**問題3** <sup>けいし</sup>説明(テーマ、<sup>ほうしん</sup>経緯、<sup>かた</sup>方針)、<sup>がんぼう</sup>語り(願望、<sup>きたい</sup>期待)メッセージ、<sup>へんこう</sup>アドバイス、<sup>へんこう</sup>変更  
<sup>いらい</sup>依頼 など  
**問題4** あいさつ、<sup>かくにん</sup>依頼・<sup>おうちう</sup>確認—<sup>ひてい</sup>応答、<sup>かんじょうひようげん</sup>主張—<sup>ひてい</sup>否定応答、<sup>かんじょうひようげん</sup>感情表現—<sup>ひてい</sup>応答  
**問題5** <sup>じょうけんていし</sup>商品説明、<sup>じょうけんていし</sup>条件提示、<sup>さうだん</sup>相談、<sup>ていあん</sup>提案 など

「重要表現」では、会話に出てくる機能をもとに、その機能を持つ表現を復習します。

たとえば、問題1(課題理解)では、会社で上司が部下に指示をするパターンが出やすいので、「明日までに会議の準備をしておくように」といった指示の機能を持つ表現を復習すれば、会話を聞きながら答えを得やすくなります。音声付きの例文もありますので、聴解の練習に利用してください。

## 練習しよう

傾向を知り、対策をしたあとは、同じ形式の問題にできるだけたくさんチャレンジするだけです。それぞれ、実際の試験の2倍の練習問題を用意しました。

さらに、質問の形や内容によって各問題をタイプ別に分類し、多く出るタイプをたくさん練習できるようにしました。

### 質問の形での分類 問題2(ポイント理解)

- 練習1 どうして～とっていますか(6問)  
 練習2 何が一番～とっていますか(6問)  
 練習3 どの/どんな(2問)

## 内容別の分類 問題3 (概要理解)

練習1 テーマ理解(6問)

練習2 メッセージ・主張(4問)

練習3 留守番電話(2問)

### 実戦模試

実際の試験と同じ問題数の模擬試験を2回分用意しました。試験は60分間ずっと続きますから、集中力が必要です。試験と同じように解いてください。ただし、実際の試験では例題がある場合もありますが、本書の模擬試験では用意していません。

実戦模試の音声は、CDに入っていないです。下記URLからダウンロードしてください。

第1回 <http://ask-books.com/tettei/n1/moshi1>

第2回 <http://ask-books.com/tettei/n1/moshi2>

解答には、別冊のマークシートを利用してください。

聴解試験の対策は、とにかく日本語の会話を聞くことに慣れて、パターンをつかむことが大切です。1回解いたら終わりにするのではなく、同じ問題でもくり返し聞いて、解いて、実力を身につけていきましょう。

本書の制作にあたって、『新しい「日本語能力試験」ガイドブック 概要版と問題例集 N1,N2,N3編』(独立行政法人国際交流基金 財団法人日本国際教育支援協会)および、日本語能力試験公式HP (<http://www.jlpt.jp/index.html>)、旧試験に出された過去問題、旧試験の『日本語能力試験 出題基準【改訂版】』、その他日本語能力試験関連の書籍などを参考にしました。それらの分析、研究をふまえて、どんな問題が出されるかを予測して、対策を紹介しています。

# もくじ

まえがき	3
日本語能力試験N1 聴解について	4
本書の構成	7

## 問題1 課題理解 11

1. どんな問題が出る?	12
2. 課題理解の対策	16
3. 練習しよう	20

## 問題2 ポイント理解 25

1. どんな問題が出る?	26
2. ポイント理解の対策	30
3. 練習しよう	34

## 問題3 概要理解 39

1. どんな問題が出る?	40
2. 概要理解の対策	43
3. 練習しよう	47

## 問題4 即時応答 49

1. どんな問題が出る?	50
2. 即時応答の対策	55
3. 練習しよう	59

## 問題5 統合理解 63

1. どんな問題が出る?	64
2. 統合理解の対策	69
3. 練習しよう	71

## 実戦模試 75

第1回	75
第2回	85

## 別冊

解答用紙	2
問題の答え	6
スクリプト	8

★★★★絶対合格★

# 日本語能力試験 徹底トレーニング N1 聴解



松岡 龍美

  
ask  
PUBLISHING



## まえがき

2010年7月より、日本語能力試験が新しく生まれ変わりました。

科目を見ると、「言語知識(文字・語彙・文法)、読解」(110分)と「聴解」(60分)となっていて、内容は大きく進化したと言えるでしょう。特に、「聴解」のウェイトが大きくなり、新しい問題形式が出題されるようになりました。このような試験問題の進化は、教師としても学習者としても、歓迎できるものです。

しかし、新しくなった試験では、「言語知識(文字・語彙・文法)」(60点)「読解」(60点)「聴解」(60点)の3つの得点区分に分けられ、それぞれに合格基準点が設定されることになりました。N1では、各区分の基準は19点で、3区分合計の合格基準は100点です。たとえば、「言語知識(文字・語彙・文法)」と「読解」がともに50点で、2つの得点区分だけで100点に達していたとしても、もし「聴解」が18点で基準に達しなかったら、不合格になるということです。これでは、「1点の差」の理不尽さは、かえって強まることになります。はたして日本語能力試験に合格判定は必要なのでしょうか。この点も含め、今後さらに日本語能力試験が進化することを期待したいと思います。

「聴解」については、以前から苦手な学習者が多かったと思います。それだけに、「聴解」の得点が日本語能力試験合格のカギになるでしょう。この問題集では、実際にどんな問題が出題されるか、具体的に分析しています。どんな問題が出るのかわかれば、あとはそのための練習をするだけです。それが試験の成績を上げるために一番よい方法だと、私は確信しています。

私が問題集を作るときの思いはいつも同じです。

皆さんが1人でも多く試験に合格できますよう、心から祈っております。

2011年5月

著者

## 日本語能力試験 N1 聴解について

日本語能力試験N1の聴解は、試験時間60分、問題1から問題5まで全37問です。

問題1と2は、旧試験に出題されていたものとはほぼ同じ内容の問題です。問題3と4は、旧試験には出題されていなかった新しい問題です。問題5は応用問題で、形式も内容も複雑になっています。

それぞれどんな形式なのかをしっかりと押さえて、対策に役立てましょう。

### 聴解試験の概要

	大問	数	ねらい	事前に質問があるか	選択枝が書いてあるか
聴解 60分 37問	1	6	まとまりのあるテキストを聞いて、内容が理解できるかどうかを問う (具体的な課題解決に必要な情報を聞きとり、次に何をするのが適当か理解できるかを問う)	○	○
	2	7	まとまりのあるテキストを聞いて、内容が理解できるかどうかを問う (事前に示されている聞くべきことをふまえ、ポイントを絞って聞くことができるかを問う)	○	○
	3	6	まとまりのあるテキストを聞いて、内容が理解できるかどうかを問う (テキスト全体から話者の意図や主張などが理解できるかを問う)	×	×
	4	14	質問などの短い発話を聞いて、適切な応答ができるかを問う	×	×
	5	4	長めのテキストを聞いて、複数の情報を比較・統合しながら、内容が理解できるかを問う	×	×/○

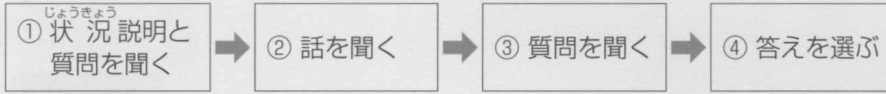
※小問数は、試験で出題される目安です。実際の試験では異なる場合があります。

日本語能力試験の総合計得点は180点満点、聴解は60点満点です。

基準点は3得点区分合計100点、聴解は19点ですが、より確実な合格のために、42点(70%)以上、つまり、全37問のうち26問以上の正解を目標にしましょう。

**問題1 (課題理解)**

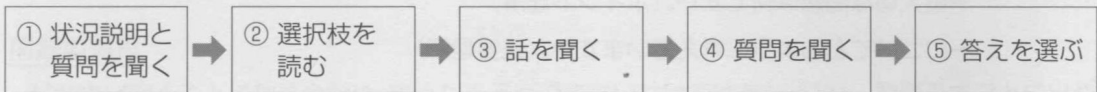
2人の会話を聞いて、「これからどうするか」という質問に答える問題。



- 質問例 男の人はこれからどうしますか。  
 女の人はこのあと何をしなければなりませんか。  
 男の人は、どんな指示しじを出しますか。

**問題2 (ポイント理解)**

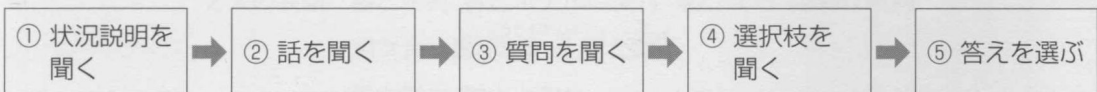
2人の会話(1人の話)を聞いて、その話の中で一番大事なポイントを聞き取る問題。



- 質問例 ~する一番の理由/目的は何だと言っていますか。  
 どうして~しますか。  
 何が問題だと言っていますか。  
 何が最も大切もっとだと言っていますか。  
 ~について、どんな考えを持っていますか。  
 どんなアドバイスをしていますか。

**問題3 (概要理解)**

1人の話を聞いて、それが何についての話なのかを答える問題。

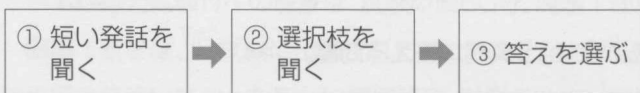


- 質問例 話のテーマは何ですか。  
 何について話していますか。  
 先生が言いたいのはどのようなことですか。  
 女の人が伝えつたたいことは何ですか。  
 ~についてどう考えていますか。



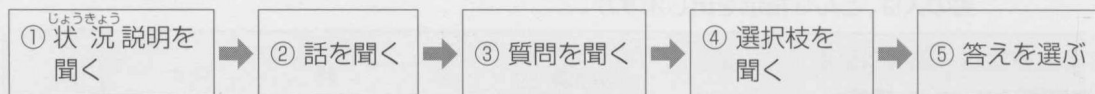
#### 問題4 (即時応答)

ある問いかけ、話しかけに対して、どのような受け答えをしたらいいかを選ぶ問題。



#### 問題5 (統合理解)

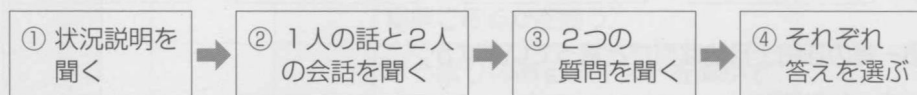
3人の会話、または1人の話をふまえた2人の会話を聞いて、いろいろな情報を合わせて内容を理解する問題。



質問例 息子はこれからどうしますか。(課題理解)

一番大切な問題は何ですか。(ポイント理解)

～についてどのように考えていますか。(概要理解)



質問例 女の人／男の人は何を選びましたか。

女の人／男の人はどうすることにしましたか。